

# 住みよい小山をつくる会 第11回企画会議 議事概要

日時：平成19年1月16日（火） 午後7時～9時

会場：小山公民館 料理実習室

## 1 第4回全体会の振り返り

- ・共同使用部分については提案どおり了承。15haの返還部分では、公園・緑の配置を優先して最初のコンセプトとして新たに追加し、2つ目のコンセプトでは、他地域からのアクセスへの配慮を項目として加えることでした承された。

## 2 意見書案の検討

全体会ではコンセプト案の方向性だけを示し、事務局で今日の提案のような文章にした。これでもよければ、この文面でコンセプトとしていきたい。今日はこのコンセプトを基に、意見書案として具体的な内容について検討していきい。

- ・資料の新しい地図に、バッファゾーンが10haとある根拠は？

昨年11月27日付けで米国大使館、厚木基地、関係省庁へ市の米軍基地返還促進協議会が提出した要望書に入れたもので、返還部分との緩衝になるような緑地的使い方をしてほしいという要望をしたもの。そのため、バッファとしての使用が決定されているわけではない。

（全体会で出された意見とアンケート結果を踏まえ、意見の整理を行った。）

返還部分のゾーニングについて

- ・「公園・緑地」、「事業所・商業施設」、「公共・行政施設」及び「地域交流」のゾーニングについて検討し、概ねのゾーニングを整理した。

具体的な施設について

- ・行政施設、福祉施設、文化施設、商業施設などの文言の整理や具体的施設の例示について検討。また、駐車場・道路アクセスや公園・緑地、植栽などのあり方についても検討。

共同使用部分について

- ・ジョギング等ができるオープンスペースとしての基盤整備や、イベント開催などのあり方について検討。また、フェンス設置の形態、出入り・使用の自由など要望すべき事項についても検討。

小山地域の住民の関わり方について

- ・基地跡地についての管理などの地域としての関わり方について検討。今と同じように地域の拠点は、自治会連合会や各種団体、公民館が中心になって利用に関わっていく。

## 3 今後の進め方の検討

今日の企画会議の意見をつめ、ワーキングで成文化することとする。また、コンセプトについて各種団体で意見を収集する。